

令和6年度「こころの劇場」倉敷公演について

「こころの劇場」は、劇団四季が全国の子どもたちを無料で劇場に招待し、演劇の感動を届けるプロジェクトとして実施されている事業です。倉敷市では、劇場で舞台芸術を鑑賞する機会を通じて、児童の豊かな情操の涵養を目指すとともに、公共の場でのマナーの育成を図ることを目的として、市内全小学校の6年生児童が「こころの劇場」を観劇しています。

1 作品 劇団四季ミュージカル『ふたりのロッセ』

2 日時 令和7年1月30日（木）・31日（金）

30日（木）舞台設営・リハーサル

第1回公演 13：30開場／14：00開演 16：00終演

31日（金）第2回公演 9：30開場／10：00開演 12：00終演

第3回公演 13：00開場／13：30開演 15：30終演

【上演時間：2時間（休憩15分含む）】

3 会場 倉敷市民会館（定員1,974席）

4 対象 倉敷市内の小学6年生（約4,500人 ※引率教員、関係者含む）56校

5 主催 倉敷市教育委員会／劇団四季／（一財）舞台芸術センター

ミュージカル『ふたりのロッセ』

ドイツの小説家エーリッヒ・ケストナー作『ふたりのロッセ』は、「子どもに読ませたい児童文学100選」に選ばれ、映画やアニメでも親しまれている世界的名作です。

離ればなれに暮らしていたふたごの姉妹が、力を合わせて困難に立ち向かい、家族の絆をとりもどそうとする、感動の物語。

ふたりが奮闘する姿は、ユーモラスでありながら、切なる願いが胸を打ちます。

家族、友だち、人とのつながり・・・「大切なものは何か」に改めて気づくはず。

ハラハラ・ドキドキのストーリー、心に温かく響くメロディ、ダイナミックなダンス。

あっという間に物語の世界に引き込まれ、観た後はきっと、勇気と希望に満たされることでしょう。